

地域	埼玉県 春日部市	認定日	平成20年3月19日	通巻番号	3 - 20 - 031
----	----------	-----	------------	------	--------------

事業名	庄和黒豆のブランド化推進事業
-----	----------------

連携体	中小企業者	(株)道の駅庄和 (飲食料品小売業)
	農林漁業者	中村清 (農業)
	連携参加者	庄和商工会、(株)ヨシダ(各種商品小売業)、(株)栄和(一般飲食店) (有)遠藤商事、(株)下田食品、富沢志津子(以上、食料品製造業)

サポート機関等	埼玉県商工会連合会、地域活性化支援事務局
---------	----------------------

事業概要 (連携の経緯・商品等の新規性・市場性・競争力)

連携の経緯

道の駅庄和は、埼玉県春日部市の国道4号線沿いで、地元の特産品や農産物の販売、地域観光の宣伝等を行っている。以前からオリジナル商品により、他の道の駅との差別化を図りたいと考えており、名物となるような農作物や特産品の開発を行おうと、検討を重ねていた。地元農家中村清氏と共同で黒豆の栽培にチャレンジ、周辺の休耕田を活用、黒豆を庄和のブランドとして確立する取組みが始まった。



(庄和地区の黒豆畑)

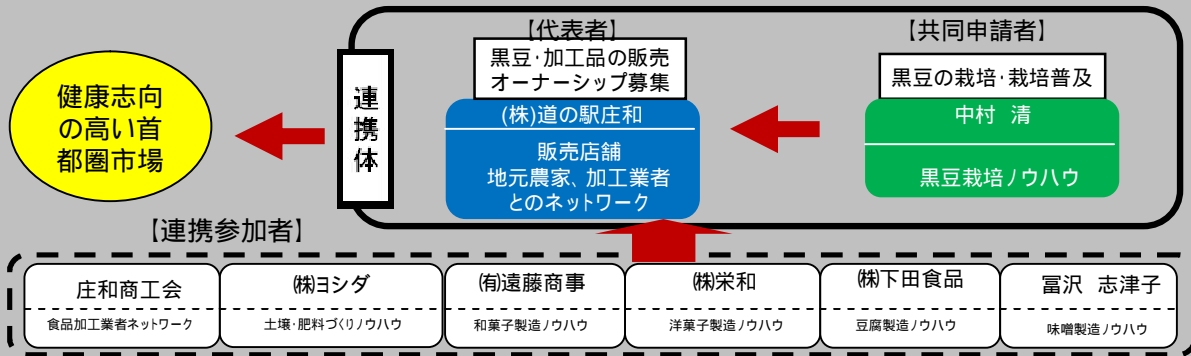
新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力
新たな取組みとして 庄和産黒豆の販売、黒豆加工商品の開発・販売、黒豆オーナーシップ制度を行う。地域の農業者が栽培した黒豆を、地域の食品加工業者で商品化し、道の駅で販売する。黒豆オーナーシップ制度により、一般消費者を巻き込んだ生産活動を実施することで、「庄和黒豆」「庄和＝黒豆」といった地域性を前面に押し出した独自ブランド確立、一定の市場を確保する。



(収穫した黒豆)

オーナーの農作業体験により、道の駅の利用率を高め、黒豆以外の野菜直売や飲食利用の増加も目指す。

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- 新商品の売上高4,306万円(平成23年度)
- 地域ブランド「庄和＝黒豆」の確立
- 地域外から庄和地区への集客数増加
- 庄和地域の耕作放棄地(休耕田)の解消

代表企業等の連絡先

代表者(所在地):株式会社 道の駅庄和
(埼玉県春日部市上柳995)
電話番号:048-745-1481
FAX番号:048-613-3545
E-mail:me.showa@gol.com
ホームページ:http://michinoeki-showa.or.jp/